

学校教育の支援及び小中学校の施設整備（感染症対策、補修整備、支援員の配置 等）

アナ： 『市長が語る 2022 三島』 第13回の今日は、「学校教育の支援及び小中学校の施設整備」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 学校現場では、新型コロナウイルス感染症の影響が大変大きいと思いますが、三島市では、小中学校の児童生徒や教員のためにどのような支援を行っているのでしょうか。

市長： はい。

三島市では、コロナ禍にあっても、子ども達がコロナ禍前以上の環境で学校生活を過ごすことができるよう、物品の購入や施設の改修、現場の負担軽減のためのサポート等を行っております。

アナ： 今年度は、具体的にどのような支援を行っていくのでしょうか。

市長： はい。まずは、昨年度に引き続き、国からの補助金を有効に活用しながら、消毒液や衛生用品等の購入、校舎内の手洗い場やトイレの蛇口のタッチレス水栓化などを進め、感染症の予防に配慮した環境を整えます。

アナ： 子ども達が安心して学校で過ごすためには、老朽化が進む校舎の改修なども重要ですが、今年度は主にどのような改修を予定されていますか。

市長： はい。今年度は、向山小学校の校舎と長伏小学校の管理棟などの長寿命化改修工事を実施します。

この工事は、外壁や屋上防水、内装などの全面改修や、水道管などのライフラインの改修を行うもので、工期は、来年度までの2か年を予定しています。

アナ： 校舎をより長く安全に使えるようにするための大切な工事ということですね。今回の工事では、その他に、どのような改修を行うのでしょうか。

市長： はい。LED照明への切り替えなどの省エネルギー化や、段差の解消などのバリアフリー化も行います。

向山小学校につきましては、教室棟にエレベータを設置いたします。

アナ： 教室棟にエレベータがあれば、足が不自由なお子さんでも安心ですね。

市長： はい。三島市では、障がいを持つ子どもが安心して学校生活を送れるよう、今後も小中学校の教室棟へのエレベータの設置を進めていきたいと考えておりまして、今年度は、南小学校と山田中学校の教室棟にもエレベータを設置いたします。

アナ： 次に、授業の支援や子ども達のサポートについてもお聞きしたいのですが、現在、小中学校に配置されている学校支援員さんについて、教えてください。

市長： はい。三島市では、1年生の子どもたちが円滑に集団生活になじめるよう、また、2年生以上で通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする子どもをサポートするため、小中学校に54人の学校支援員を配置しております。担任や授業の先生の学級全体への指示を聞くだけでは、すぐに活動に取り組むのが難しいお子さんの補助をしたり、個別学習の時に問題をわかりやすく説明したりするなど、学校の教育活動の中で子どもたちの補助をしています。

アナ： このほかにも、小学校には、看護師と介助員が配置されていると伺いました。

市長： はい。医療的ケアを必要とする子どもを支援するための看護師を、今年度は1名増やし、3名配置しています。

また、学校生活の中で介助を必要とする子どもを支援するため、介助員1名を配置し、その子に状況に応じた学習環境の充実を図っております。

アナ： このような方々が学校にいてくださると、保護者の方にとってもとても安心ですね。

市長： 三島市ではこれからも、子どもたちが新型コロナウイルスに負けず、元気に楽しく、そして、安心して学校生活を過ごし、将来に渡って三島市の明るい未来を担ってもらえるよう、様々な学校環境の整備・改善に取り組んでまいります。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。